

# 「アレルギー発症機序の解明にむけたアレルギー出生コホート研究とヒト化マウス作製」 研究対象者の皆様へ

令和元年 9 月 26 日

（改訂：令和 2 年 3 月 19 日）

千葉大学真菌医学研究センター 感染症制御分野  
千葉大学大学院医学研究院小児病態学

現在、千葉大学真菌医学研究センター感染症制御分野と千葉大学大学院医学研究院小児病態学では、「小児における 13 価肺炎球菌結合型ワクチンの長期免疫原性に関する研究」を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究では「アレルギー発症機序の解明にむけたアレルギー出生コホート研究とヒト化マウス作製」研究に参加されている対象者の方の血液検体と個人情報を利用させていただきます。血液検体と個人情報がこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

## 1. 研究課題名

「小児における 13 価肺炎球菌結合型ワクチンの長期免疫原性に関する研究」

## 2. 研究の意義・目的

「我が国において小児が 13 価肺炎球菌結合型ワクチン（プレベナー13®）を接種することで、どの程度の期間免疫（ワクチン含有血清型特異抗体価）が維持されるかを調査するために行う。」

## 3. 研究の方法

「上記研究で使用された血液残余検体（臍帯血、生後 2 年、5 年、7 年時）を用いて、肺炎球菌ワクチン含有血清型特異的 IgG 抗体価を測定し、侵襲性肺炎球菌感染症に対する防御能を評価する。あわせて、あらかじめ確認してあるワクチン接種歴等の個人情報を確認する。インフルエンザ菌 b 型についても同様に血清型特異抗体価を測定し、ワクチン歴を確認する。」

## 4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等

は、千葉大学大学院医学研究院小児病態学・真菌医学研究センター内の鍵のかかる棚で保管します。

#### 5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。下記窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

**研究実施機関** : 千葉大学真菌医学研究センター 感染症制御分野

**本件のお問合せ先** : 千葉大学真菌医学研究センター 感染症制御分野

医師 石和田稔彦

〒260-8673 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話 : Tel:043-226-2799 (内線 5941) FAX 番号 : 043-226-2786

または

千葉大学大学院医学研究院 小児病態学

医師 下条直樹

〒260-8670 千葉県千葉市中央区亥鼻 1-8-1

電話 : Tel:043-226-2144 (内線 5941) FAX 番号 : 043-226-2145